

歳出 (町の支出)

質疑

総務費

まちづくり複合施設に町民の声は
横山委員 令和2年度の整備内容は。町民の皆様のご意見は生かしたか。
総務課長 庁舎東側の駐輪場を整備した。
 また、町民の方からご意見をいただき、駐

車場や庁舎の入り口への看板設置、照明の増設、トイレ内の大型鏡への目隠しなどを行った。決算には出ていないが、町民ラウンジへの喫茶コーナー設置の要望があり、自動販売機の設置なども行った。

民生費

人工透析されている方への支援
関委員 本町において人工透析をされている方の推移は。
健康福祉課長 常に変動するよう
 な状況である。5年前は30名、現在は36名となっている。
関委員 送迎についての課題をどう捉えているか。
町長 通院距離が近くないということ
 を念頭に置きながらの対応が必要と思われる。

さまざまな要望をお聞きしながら、できる限りの応援をしていきたい。
高齢者に対する雪下ろし支援策は
金田委員 高齢者世帯
 援事業の決算額が大幅に減少している理由は何か。
健康福祉課長 例年の実績を見ながら予算化をしたが、2月以降の降雪が少なかったことが要因として把握している。

金田委員 町民からの評価は。
健康福祉課長 1件あたり約1万5000円から1万8000円に引き上げたことで、必要とする方には必要な支援が行き届いていると考えている。

衛生費

塩分の取り過ぎか
竹田委員 新事業である
 推定食塩摂取量検査事業の実績と課題は。
健康福祉課長 約1550人に検査を行った。男性の適正塩分摂取量は7.5gだが、適正値以下が823人中115人（約14%）、女性は6.5gだが、適正値以下が728人中59人（約8%）だけであった。



男女合わせて88.8%が適正量を超えており、平均すると男性9.8g、女性9.4g。少々高過ぎではないかと思う。この検査もある程度続けて結果を集め、分析し、今後の健康づくりに反映させていきたい。

労働費

正社員化支援の実績と課題
横山委員 正社員化促進事業奨励金について、当初予算165万円に対して実績は15万円ほどである。事業の実績と課題は。
商工観光課長 1事業所2名の方が正社員となられた。コロナ禍により正社員化が難しい状況のなか、頑張っていたと思う。

農林水産業費

補助事業採択に向けてどう進めるか
金田委員 園芸大国や
 まがた産地育成支援事業の決算額が、大幅な減少となった要因は何か。
農林課長 予算要望額の大きい事業について、要望された方からの取り下げがあったため。

金田委員 取り下げは仕方がないが、今後、補助事業採択に向けた対策は。
農林課長 事業要望調査を継続しながら、農業者の方と緊密な情報交換をしながら対応していく。

